

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院リハビリテーション科で、リハビリテーション医療を受けたことのある患者さんへ

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

ICU 管理となった COVID - 19 患者に対する早期リハビリテーション効果の検証に関する後ろ向きコホート研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座 講師 幸田 剣

3. 研究の目的

COVID - 19 による肺炎は新しい病気であるため、これまで通りのリハビリテーション医療が効果的であるかは分かっていません。今回、COVID - 19 以外の肺炎患者さんとリハビリテーションの効果と比較することで、最適なリハビリテーションプログラムを検討することを目的にしています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2013年1月から2021年5月までに当院ICUで人工呼吸器装着中にリハビリテーション医療を受けたCOVID - 19患者さん、および肺炎患者さん。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、基礎疾患、ICU在院日数、抜管までの期間、ICU在院中の身体活動の回復、リハビリテーション中の発生した有害事象に関する情報です。

(3) 方法

COVID - 19による肺炎患者さんと、それ以外の肺炎患者さんのリハビリテーション効果を比較し、リハビリテーションプログラムを再考します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

本研究は、リハビリテーション医学講座研究費によって実施します。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺811-1

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座 担当医師 幸田 剣

TEL : 073-441-0664

E-mail : kenkouda@wakayama-med.ac.jp